

## 第7回公民館運営審議会

- 1 開催日時 平成27年3月17日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 13名  
事務局 館長 館長補佐兼事業担当係長 管理担当係長  
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成26年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・資料1  
(2) 平成26年度行事等開催結果報告・・・・・・・・・・資料2  
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会、委員部会・・・・・・・・資料3  
(4) 平成27年度 公民館事業計画(案)・・・・・・・・・・資料4  
(5) 提言書・・・・・・・・・・資料5  
(6) 平成26年度第6回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・・資料6
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成26年度 公民館定期講座実施状況について  
(3) 平成26年度 公民館まつり開催報告について  
(4) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告  
について  
(5) 平成27年度 公民館事業計画(案) について  
(6) 「提言書」提出について  
(7) その他

### 会議の概要

#### 1 館長報告

##### (1) 3月市議会定例会について

###### ①公民館に関連した一般質問について

- ・「地域コミュニティの形成、維持のために市は公共施設の整備をどう考えるか」

(答弁) 地域コミュニティの維持のために、公民館は学習活動を通じて、相互信頼の高い地域社会の形成に貢献し、市民と行政の協働の拠点とすることを目標に掲げてい

る。公民館では、各種音響設備として、全施設にCDラジカセ、8施設にDVDプレーヤー、6施設のホールに音響設備、7施設にカラオケ設備を設置している。

・「仲町公民館・図書館の現状の課題と今後の体制について」

(答弁) 公民館の年間事業の企画については、講座終了後のアンケートや、市民、利用者から聴き取った意見、要望を基に、事業の企画案を作成し、さらに、公民館運営審議会で審議し、事業計画を策定している。

②予算特別委員会について

平成27年度公民館予算の概要

歳入…436万5千円(前年度比-8万1千円)

歳出…4億6,571万7千円(前年度比+4,696万4千円)

歳出の増の主な理由は、旧仲町公民館の解体工事、小川公民館の太陽光発電装置の設置工事、中央公民館の耐震診断である。

(2) 仲町公民館の閉館イベントについて

3月1日、日曜日に「仲町公民館ありがとう」イベントを午後1時から午後4時まで仲町公民館で開催した。近隣の小・中学校の児童生徒やサークルによる舞台発表、絵本の読み聞かせなどが行われた。閉館の記念に、利用者が公民館の壁に落書きを行った。その中に、「知り合いが誰もいない小平で、子育てに行き詰まっていた私を助けてくれたのが仲町公民館。ありがとうございました。」という感謝の落書きがあった。

(3) なかまちテラスの開館について

なかまちテラスの開館にあたっては、公民館運営審議会の内覧会でご意見をいただいた、ガラス面の衝突防止や中央階段のガラスの曇り加工、階段の滑り止めについては、修繕にて対応し開館を迎えることができた。3月13日に開館記念式典、3月14日から利用開始となった。利用開始日の午前9時には20人程の市民が並び、一番乗りは小学生の男の子だった。先着150人に開館記念入館証明書を手渡した。利用者は次から次へと入館したが、館内は混雑することもなく、2,360人の市民の来場があり、初日を終えることができた。翌15日には1,926人の入館者数だった。

(質疑応答)

委員 一般質問について、他にもなかまちテラスの防犯カメラについて質問があったと思うが。

事務局 なかまちテラスの防犯カメラの設置についてということで、図書館が答弁しているが、防犯カメラは防犯のために11個設置していると答弁している。

委員 防犯カメラの性能について、見えるだけのものか、録画機能があるか。

館 長 録画機能が付いているものである。

委 員 記録の保存期間は？

館 長 おおよそ、2週間程度と聞いている。

委 員 設置場所についてどこに設置したのか、また、利用者から学習室2の防犯カメラについては学習風景を映しているように見えるとの声があるがいかがか。

館 長 設置場所については出入り口や事務室から死角となる場所に設置している。学習室2についても出入り口を映しているものである。

委 員 学習室2の防犯カメラについて、利用者から学習風景を記録されているのではないかとの声もあることから、カメラ位置の変更についても検討して欲しい。

館 長 すでに設置されている防犯カメラの位置の変更は難しいと思うが、図書館に話しておく。

委 員 ほとんどが引き戸だが、押したり引いたりする利用者がいた。引き戸にも矢印があると、よりやさしいのではないか。自動ドアだと思うが、子どもの手が入り込む危険性があるので、安全のために再度確認して欲しい。

館 長 図書館と協議する。

委 員 公民館は公共施設白書では地域コミュニティ施設とされているが、学習施設という位置づけで考えられないか。

館 長 公共施設白書では、公民館は地域コミュニティ施設として検討されている。

## 2 定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

委 員 上水南公民館の保育の不成立とはどういうことか。

事 務 局 応募が3人未満のため不成立となった。

委 員 3人未満だと開設しないという理由は何か。

事 務 局 公民館の保育室については、3人以上で開設するという公民館の内規である。

委 員 今現在は3人以上で成立という内規があるが、今後は3人未満でも開設できるように検討して欲しい。

3 公民館まつり開催報告について

事務局より資料2について説明した。

4 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について

事務局、委員より資料3・4について説明した。

5 (1) 平成27年度 公民館事業計画(案)について

事務局より資料5について説明した。

(質疑応答)

委 員 平成27年度の事業計画の目標を実現するために、昨年度とどこが変更しているかを説明して欲しい。

事 務 局 目標については昨年度と変更が少ないことから、事業計画についてもほぼ同じ内容であるが、なかまちテラスが開館したことにより、なかまちテラスの機能を生かした事業及び公民館のあり方見直しに向けた取り組みの項目が加わっている。

委 員 3つの目標がこの事業計画によって、どのように実現されるのかイメージがあれば教えていただきたい。

事 務 局 事業計画については、全ての事業が網羅的に目標に繋がっていくものとして組み立て

ている。

委員 個々の事業が目標のどこに繋がっているかが結びついていない。事業計画にある講座をどのように開催し、どの目標を達成していくと示していただくと分かりやすくなるのではないか。

事務局 事業計画の構成については、今後の課題として検討していく。

委員 4月の公民館運営審議会で案がとれて正式に事業計画が示されるので、講座がどの目標に繋がっているかを示していただきたい。

委員 なかまちテラスは未来づくり実行委員会が開館イベントについて企画したが、今後、事業企画委員会を設置するモデル館はどうなっていくのか。

事務局 事業企画委員会については、前回にも説明したとおり、順次設置に向けて取り組んでいく。次年度は鈴木公民館がモデル館である。その次の年度に2館程度、その後は順次全館で取り組んでいくことを目標にしている。

委員 未来づくり実行委員会では、今後もなかまちテラスに関わっていきたいとの意見があるが、事業企画委員会との関係はどうなるのか。

事務局 今後、未来づくり実行委員会のご意見は、仲町公民館の様々な講座に前向きに反映していくことにする。

委員 未来づくり実行委員会の意見としてでもあるが、個人的にも若い子育て世代や青年世代を対象にした事業を組み入れることで、公民館の活性化が図られると思っている。

委員 推進事業1のシニア講座の充実、6の土曜日の子どもの自由で安全な居場所の確保、8のなかまちテラスを活かした事業についてなどは、提言の1の②の今後の更なる推進分野への取組に記載されている内容である。今後、分館も含めて、講座内容をさらに検討していただき進めていってほしい。

事務局 それについては、十分に考慮して取り組んでいきたいと考えている。

委員 サークルフェアは中央公民館の事業であるとの説明であったが、サークルフェアがまつりのようなイベントだと思うが、公民館まつりとの関係はどうなっているのか。

事務局 サークルフェアは平成 24 年度から実施している中央公民館の事業であるが、公民館まつりは、八館会まつりとして 20 年以上前から実施され、八館会が中心として行っている事業である。今後は、サークルフェアと公民館まつりの役割をはっきりさせる必要があると考えている。

委員 推進事項 6 の土曜日の子どもの自由で安全な居場所の確保について、年々、地域の方を講師にしたり利用団体がボランティアで協力したり、非常に充実してきて評価できる項目であり、今後も推進してほしい。今後は、大人が作る安全な居場所であるが、自分たちで遊びを創造していくような事業が展開されていくともっと良くなるのではないかと。「土曜子ども広場友・遊」だけでなく、ジュニア講座にも受講者が創造できるような講座を期待したい。

委員 推進事項 9 の公民館のあり方の検討から見直しに向けた取組の推進について、モデル館を設置し、という表現だと来年度設置する鈴木公民館だけに事業企画委員会を立ち上げると解釈できてしまうので、順次取り組んでいくという表現を付け加えてほしい。

事務局 モデル館を 1 館だけ設置するのではなく、事業企画委員会を設置する館を順次増やしていくという表現が正しいと思われるのでそのようにしたい。

委員 「土曜子ども広場友・遊」について、来年度からは小・中学校でも土曜授業があるので、当日は避けるなどの配慮をして欲しい。

委員 学習支援者養成講座の講師はどのような方を考えているか。

事務局 まだ詳細は確定していないが、小・中学校の元教師の方や子どもの学習に見識の深い方と考えている。

委員 学習支援者については、地域でも学校でもニーズがあると思われるので、子どものかかわり方についても配慮していただいて、公民館だけでなく小・中学校にも支援ができるような仕組みづくりをお願いしたい。

## 5 (2) 鈴木公民館の進捗状況

事業企画委員については 13 名、4 月から月 1 回で会議を行う予定である。

具体的な取り組みとしては、事業企画委員会の役割として、様々なアイデアを出してもらい、平成 28 年度に実施する事業の企画を考えてもらう。

(質疑応答)

委員 分館に割り当てられた5つ程度の講座の中の決められたジャンルの中で企画の案を出して貰って貰うのか。

事務局 公民館の課題と今後の方向性—公民館のあり方検討に関する報告書—の12ページの(3)の①～⑥までのテーマの中で様々なアイデアを出して貰う。予算はある程度決まっているが、講座数や講座一覧表のジャンルにこだわることはない。

委員 13人の中でリーダーは決めているか。また、役割としては、アイデア出しだけなのか企画を練り上げていくのか。

事務局 リーダーについて腹案はあるが、メンバーの中で決めて貰う。メンバーでアイデアを出して貰い、情報を共有しながら公民館側でまとめ上げていく。

委員 4月の審議会の中で提言については議論していきたいが、公民館運営審議会と事業企画委員会との関係はどのように考えているか。

事務局 事業企画委員会が報告し、公民館運営審議会が助言と援助をする。具体的に報告をこの公民館運営審議会の会議の中で行うかどうかはまだ決めていない。

委員 諮問に対する答申をするわけであるが、鈴木公民館の実際の流れや内容について分からないと答申をするにも難しいと思う。

事務局 鈴木公民館の事業企画委員会については、開催の現状や課題について逐次、報告していく予定である。答申がされることは心得ており、公民館運営審議会委員にも傍聴はできることにしたいと考えている。委員が傍聴していただければ、様子が分かると思う。

## 6 提言書の提出について

会長から館長へ提言書を提出した。次回、職員と公民館運営審議委員と意見交換したい。

## 7 その他

次回4月14日(火)午後2時より中央公民館会議室にて開催する。